

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

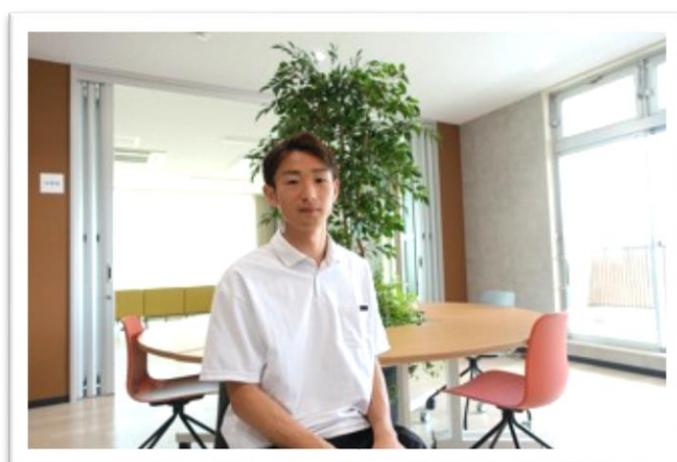
株式会社山形ミートランド

寒河江市にある株式会社山形ミートランドの大沼翼さん取材しました！

大沼さんは山形県大江町出身で、2023年に入社しました。

現在は加工部製造1課で勤務しています。

(1) 仕事内容編



———現在の仕事内容を教えてください。

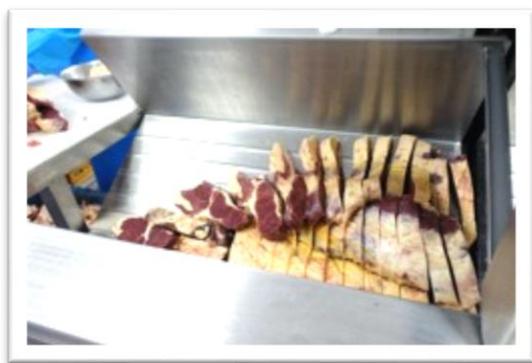
私が所属している部署は、冷凍スライスグループで、私はお肉をスライスする工程を担当しています。

例えば、食品メーカーさんが冷凍食品を作る際には、具材を各社から仕入れる必要があります。その具材になるお肉を納品しているのが弊社です。「何ミリにスライスしたお肉を何トン」といったオーダーを受けて、オーダーに沿ってスライスしたお肉を期日までに納品するという仕事をしています。

——機械でお肉をカットする作業には、やはりコツが必要ですか。

原料によって大きさが違うので、次の工程の人にどうやったら流しやすく切れやすくなるかをしっかり考えながらやらなければいけません。

また、原料を包んでいるビニールを無理やり取ろうとすると、破れて残ってしまうこともあります。しっかり検品をしてから機械でスライスすることによって、クレームを少なくすることも大事です。やはり食品を扱っていますので、安全・安心を確保することに細心の注意を払っています。



——業務用のお肉を、グラムをしっかりと合わせてお客様にお届けするお仕事で、大変だと感じることはありませんか。

いろいろと大変なことはありますが、どうしたら生産性が上がるか考えることが大変です。それに、私も入社して間もないですが、自分より後に入社してきた人に対して、どう教えたらわかりやすいのかを自分で考えることも大変でした。

——生産性を上げるという点で、大沼さんから提案をして変えていったことはありますか。

製造ラインの中では、3人くらいで、1人目が機械担当、2人目がお肉を機械に流す担当、3人目は計量という役割分担でやります。その3人の中で、1人だけが頑張っても連携が取れませんので、作業が始まる前にしっかり話し合っって作業がスムーズに行くようにしました。



——入社して、自分が成長したと感じたことはありますか。

成長できたこととして、お肉を扱うにあたっての専門的な知識や技術が得られたことです。丁寧さや正確さが求められる作業を、よりスピーディーにこなすための集中力が得られたと思います。

——山形ミートランドの魅力を教えてください。

弊社の魅力として、川上から川下まで一貫した体制が整っているということがあります。川上は牧場の「ドリームファーム」、川中がこの「山形ミートランド」、川下が「焼肉名匠 山牛」です。生産、加工、製造、卸、販売までをグループで行うことで、より安全で安心なものを確実にお客様に提供することができます。

このような環境が整っているからこそ、お客様のご希望に合った提供の仕方ができるというのも弊社の強みです。お客様からの要望に合わせて、冷蔵、冷凍、加熱、加工でもなんでもご対応できます。このように一貫した体制で行っているところは他にあまりないと考えています。

また、2023年5月に、寒河江市幸生に牧場を備え、そこで幸生牛の飼育を始めました。「幸せが生まれる」という幸生地域で生産されているので、「幸生（さちう）牛」といいます。他社にはない弊社オンリーのブランド牛を持っていることも、とても大きな弊社の魅力だと思います。

仕事として、製造することはもちろんですが、それがどのようにお客様に届き、お客様がその商品を食べるとどのような顔をして、どういう気持ちを持つのかというところを肌で感じ

働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業

山形ミートランド

られることが、仕事をしていくうえでの山形ミートランドの魅力です。

——山形ミートランドの商品は身近なところで手に入りますか。

県内のいろいろなスーパーさんの精肉コーナーに行くと置いてありますね。百貨店さんにはギフト用として卸すのが多いです。他には、通販もあります。業務用だけではなく、身近なところにも弊社の商品が販売されるようになってきています。



(2) 職場編



——関東の大学から、山形に戻って来ようと思ったのはなぜですか。

大学でやっていた陸上競技を続けたかったので、関東で実業団に入る道も考えましたが、今までお世話になった人たちに恩返ししたいという気持ちがあり、山形に戻ってきました。

——山形での就職活動はどのようにしたのですか。

山形県縦断駅伝で、西村山チームのメンバーとして中学生の時から走っていたのですが、そのメンバーに山形ミートランドのアスリートクラブの人がいて、もともと社名は知っていました。

入社する前から、陸上の練習場所として山形ミートランドの目の前の道路を使っていたのですが、就職を考える時期に、社長が自分の練習をたまたま見てくださっていて、声をかけていただきました。そこからお話する機会がありまして、「山形ミートランドってどういうところだろう」と思うようになりました。自分で調べてみて、社内見学をさせてもらったら、すごく雰囲気良かったので、ここで働いてみたいという思いを持ちました。

——社長とのお話が入社の決め手になったようですが、社長のどんな思いに共感されたのですか。

社長がいう「現状にとどまらない」という点ですね。ゴールを作らず、何事にも挑戦する気持ちが強いところです。私は陸上をするなかで、自分で限界を決めないことを大事にして

働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業
山形ミートランド

いたので、そのような仕事に対する前向きな気持ちに共感しました。

(白澤さん) 例えば、厚生労働省が決めている生食用牛肉の加工適合基準がありますが、それを日本で最初にクリアした企業が弊社です。今現在でも、基準を満たしている企業は、弊社含めて5社しかありません。日本初、どこよりも先に作るというところにチャレンジ精神が表れています。



——入社してよかったと感じることはどんなところですか。

入社してよかったことが2つありました。

私はアスリートクラブという社内の陸上クラブに入っておりまして、仕事とそのアスリートクラブ活動を両立する環境があるということです。

もう一つは幅広い年代の方々と一緒に作業することができるので、様々なその人の考え方や価値観を一緒に学べるということです。

——アスリートクラブでは大会に出るのですか。

はい！会社の看板を背負って走っています。
この写真は、4月に行われる山形県縦断駅伝
です。私は今年で10回目の出場ですが、その
ときに撮っていただいた写真です。



——区間1位！すごいですね！



会社を挙げて応援してくださるので、そういう応援の力
もあって取れた区間賞になります。8月24日には東北選手
権という大会がありまして、そこにも出場させていただきます。

——お仕事しながら、アスリートクラブの練習もするのは結構忙しいですね。

自分の好きなことができる環境なので、問題ありません！クラブの練習は勤務時間外にし
ていて、有志の9人で活動しています。

自分の好きな陸上を続けられる環境が整っているというのも入社の大きな理由です。

——貴社の福利厚生で、良いと思うところは何ですか。

自社のお肉を注文できます！基本は2割引です。

(総務部長の白澤さん)：

福利厚生の一つとして、「オフィスでやさい」を導入しています。冷凍食品やサンドイッチ、サラダチキンなどを会社負担で少し安く提供しています。

また、福利厚生としての社内イベントは3つあって、新年会、山形県縦断駅伝の壮行会を兼ねての新入社員歓迎会、秋は芋煮会があります。新年会が一番すごくて、グループ総勢で100名を超える社員と、来賓の方も呼びまして120名くらいでやります。豪華景品が当たるビンゴ大会をやったり、サプライズゲストで著名人を呼んだり。もちろん全部会社負担です。



(3) ある日の過ごし方編

●8:30 【出社】

作業着に着替え、現場に入ります。



●8:45 【業務開始】

朝礼後、業務を開始します。

●12:00 【お昼休憩】

社員食堂でご飯を食べます。

●13:00 【午後の業務開始】

午前中と同様に製造を行います。

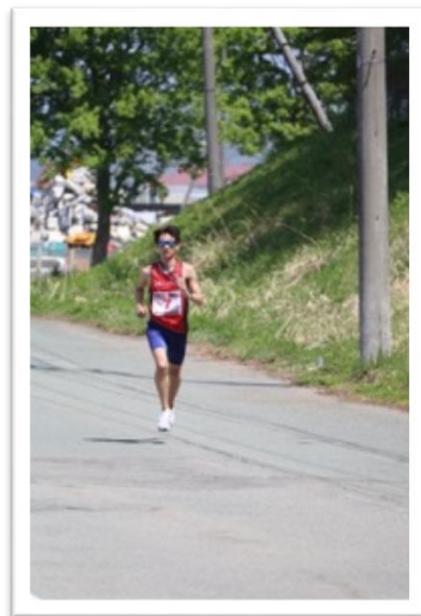


●16:00 【製造終了、掃除開始】

製造が終了し、掃除を始めます。

●17:30【退勤】

退勤後は、アスリートクラブの練習に参加します。



(4) むらやまでの暮らし編

——山形県で働くことや住むことの良さを教えていただきたいです。

山形は四季折々のイベントが多く、人と人との繋がりがとても強いです。街や人の心はとても綺麗で、温かい場所だなと思ったことが戻ってきた理由の1つです。私は、ボランティア活動をしているので、特に人の温かさや繋がりを感じます。

——ボランティア活動とはどのようなことをしているのですか。

陸上のボランティア活動は、小さい子どもたちに練習のしかたを教えています。私は小さい頃からやってきて知識もあるので、そういった自分の知識や経験を小さい子どもたちに教えていずれば将来に繋げたいなと思っていて、指導のボランティアを個人的に行っています。



——関東に比べて、山形は不便なことはありますか。不便さをうまく解決する方法がもしあれば教えてください。

やっぱり雪が多いですし、夏はすごく暑いので、山形は大変ですよ。ですが、会社は1人1人の健康にすごく気を遣ってくれています。夏だったら、会社の中にウォーターサーバーがあるので、こまめに水分補給ができます。

(5) まとめ編



———今後の目標を教えてください。

私は入社してからまだ日が浅いので、仕事を与えられる立場にありますが、今後は自分で生産計画を立てたり、新しい仕事を自分で取れるようになっていきたいと思っています。

———これから就職活動をする学生にメッセージをお願いします。

自分に合った企業を見つけることがとても重要です。その企業で自分がどういうことをやっていきたいのか、どのような姿勢で仕事と向き合っていきたいのかを明確にしていることがとても大切です。あとは、たくさんの企業の方針や価値観に触れながら、自分に合った企業を見つけて、納得のいく結果が得られるようにしてほしいです。

———ありがとうございます！

山形ミートランドさんのインタビューでは、会社全体の活気がある雰囲気や、社長の挑戦する思いが全社員に伝わっているからこそできる画期的なビジネス（日本初の生食加工認定）など、印象深いことが数多くありました。なかでも印象的だったものは大沼さんと山形ミートランドの出会い方です。陸上を通して、社長と出会うという他ではあまり聞かないもので、就活とはご縁であるという考えを持ちました。お忙しい中、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました！



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 成澤亜衣 源後舞夏 森谷心羽】

働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業

山形ミートランド

★「日本初」のような大きな仕事も任せてもらえる挑戦のできる環境です。

当社は日本初の生食加工認定を受け、日本全国のユッケ愛好家へお届けしています。既存のやり方に捉われず挑戦していく精神を大事にしています。

★ISO22000 認証取得、有機 JAS 認証取得、生食用牛肉加工基準適合

- ・所在地 山形県寒河江市中央工業団地 155-12
- ・設立 平成 8 年 8 月
- ・従業員数 70 名（男性 35 名、女性 35 名）
- ・事業内容 県内唯一の自社ブランド牛の肥育生産から卸・加工、外食まで一貫した体制で豊かな食を提供するグループの中核企業
- ・URL <https://www.y-meatland.com/>

